

経営導入演習

担当者： 紫関 正博

テーマ： 貸借対照表、損益計算書の構造と企業の安全性・収益性に関する分析手法を学ぶ。

【授業の方法】 主に、講義形式 | 連絡先・オフィスアワー：512 研究室。オフィスアワーの日は、初回の授業で提示する。

【到達目標】

貸借対照表、損益計算書の各項目と各種利益に着目し、基礎的な分析手法の習得によって、企業の会計情報を読み解く。

【演習概要】

(1) 財務諸表の種類と勘定式・報告式の貸借対照表、損益計算書の表示方法を学ぶ。

貸借対照表、損益計算書の各項目と各種利益に対する理解を深める。

(2) 会計上の利益とキャッシュ・フローの関係を学ぶ。

貸借対照表、損益計算書の各項目と各種利益を用いて、企業の安全性と収益性に関する基礎的な分析手法を学ぶ。

(3) 上記(1)と(2)で習得した知識を基にして、企業の会計情報を読む。

【進め方】

主として、講義形式で進める。その他に、課題演習として、企業の会計情報に関する資料を考察する。

第1回目：貸借対照表、損益計算書の構造を学ぶ。小課題に取り組み、まとめを行う。

第2回目：キャッシュ・フロー、企業の安全性と収益性に関する基礎的な分析手法を学ぶ。

小課題に取り組み、まとめを行う。

第3回目：第1回目と第2回目の授業で学習した事柄を活かして、企業の会計情報に関する

課題演習を行い、学習した基礎の定着を図る。

【テキスト・参考文献】 教員が用意した配布資料を使用する。

【評価基準・方法】

評価は、授業内に行う小課題とレポート課題による。

評価の詳細は、各クラスの初回の授業において説明する。

【実務経歴】

該当なし。